

実施計画事業名		芸術・文化活動拠点整備活用事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		教育部 社会教育課		課長(主幹)名	小田島 富男		
総合計画体系	分野	1	教育・文化				
	政策	3	活気あふれる学びの場づくり				
	施策	2	芸術・文化活動を普及・推進します				
	関連施策						
現状と課題	総合文化センターは、宗谷圏域の文化の殿堂として昭和56年に開館し、以来、旭川以北最大のホールを利用して様々な舞台芸術やコンサートなどが開催され、多くの住民に利用されてきた。ここ数年、市民参加方の舞台活動が増加している一方、施設全体としては利用の減少が続いており、施設の有効活用へ向けた方策が必要な状況である。						
目的	身近に文化・芸術にふれる機会を提供できる環境の整備を行うとともに、文化に対する市民ニーズの多様化に対応できるよう市民の創造活動や文化の向上に結びつけられるような環境をつくる						
5ヶ年展開の	○指定管理者制度による効果的、効率的な管理運営を行う ○芸術・文化活動等に利用する際の利用料金設定の引き下げと減免拡大を行う。						
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	稚内総合文化センター使用日数稼働率		%	目標	87.00	87.00	88.00
	説明	使用日数/開館日数×100%		実績	86.03	87.73	
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	稚内総合文化センターの大ホールの使用日数		日	目標	85	85	90
	説明		1日に複数件の使用があった場合も1日とカウントする。		実績	85	87
	稚内総合文化センターの小ホールの使用日数		日	目標	125	125	130
	説明		1日に複数件の使用があった場合も1日とカウントする。		実績	124	125
	稚内総合文化センターの会議室等(大・小ホール以外)使用日数		日	目標	250	250	250
	説明		1日に複数件の使用があった場合も1日とカウントする。		実績	240	254
				目標	-	-	-
				実績			
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	60,160	86,468	58,596		
	国庫支出金	千円	0	0			
	道支出金	千円	0	0			
	起債	千円	0	0			
	その他	千円	0	0			
	一般財源	千円	60,160	86,468	58,596		
	この事業にかかる職員数	人/年	0.08	0.11	0.11		
人件費(B)	千円	554	747	747			
計(A+B)	千円	60,714	87,215	59,343			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成21年4月より使用料の約30%の減額や会議室の時間制の料金改正を行ない、さらに6月に使用料の減免率の改正を実施し、受益者負担の軽減を図り一層の利用促進を進めてきた。						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 文化センターの運営や各種公演等の創作プロセスに、市民が参加できる仕組みを作り、市民参加型事業をさらに展開して行くことが必要。また、市民が文化に主体的且つ積極的に関わって行くため市民との協働化、ネットワークの拠点化を進める必要がある。
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 社会状況の変化の潮流をふまえた文化施設のあり方として、指定管理者自らが考えるように、単なる鑑賞事業から脱却し、市民が主役となり、主体的な文化活動を促進し、多様な活動や交流ができる場としての事業展開を進める必要がある。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--